

感染症に気をつけよう!

2021年【6月号】



横浜市内の感染症 流行状況

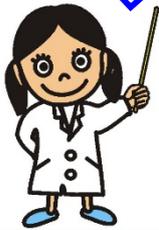
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
RSウイルス感染症**	流行	急増	5月以降、急増しています。全国的にも、例年を上回る状況です。 【'16.10号】
新型コロナウイルス感染症*	流行	横ばい	市内でも報告が続いています。年齢層別では20代が多いです。 【'21.5号】

国立感染症研究所*

横浜市感染症情報センター

今、気をつけたい感染症 新型コロナウイルス感染症

密閉、密集、密接が重なる3密の場面だけでなく、2つあるいは1つだけの要素でも感染のリスクがあります。



密閉回避

- ✓ 風の流れることができるよう、2方向の窓を1回に数分間程度、全開にしましょう。
- ✓ 換気回数は1時間に2回以上確保しましょう。



密集回避

- ✓ 他の人とは、互いに手を伸ばして届かない十分な距離(2m以上)を取りましょう。



できるだけ「ゼロ密」を**目指しましょう。



密接回避

- ✓ 密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。
- ✓ 「5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛沫(約3,000個)が飛ぶ」と報告されています。



厚生労働省**
【新型コロナウイルスに関するQ&A】



横浜市保健所
【新型コロナウイルス感染症対策】